

2019年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

「企業退職者を活用した 健康寿命延伸活動による介護人材確保」 報告書概要

2020年3月
特定非営利活動法人 メディカルケア協会

<https://taberuchikara.jp/>

特定非営利活動法人メディカルケア協会について

所管庁	山梨県
主たる事務所の所在地	山梨県甲府市伊勢1丁目2番18号
従たる事務所の所在地	東京都江東区亀戸2丁目6番地6号
代表者氏名	松葉 惇（前 山梨県中小企業団体中央会 会長、 前 山梨県ジュエリー協会 理事長）
設立認証年月日	平成12年1月26日
定款に記載された目的	本会は、福祉サービスを必要とする者が心身ともに健やかに育成されるべきであるとの福祉社会の重要性に関する認識に基づき、福祉と医療の連携を図りつつ、科学的でかつ適正な医療を普及することを目指し、また福祉と医療に関する各種サービスを提供する事業を行い、もって社会全体の利益の推進に寄与することを目的とする。
活動分野	保健・医療・福祉／社会教育／まちづくり／学術・文化・芸術・スポーツ／環境の保全／子どもの健全育成／連絡・助言・援助
法人番号	7090005001268

「企業退職者を活用した健康寿命延伸活動による介護人材確保事業」 全体概要

<https://taberuchikara.jp/>

地域人材不足・高齢化を打開し、セカンド・サードキャリアへの魅力的な受け皿づくりを目的に、定年後の新たな就労機会を健康寿命延伸に向けた取り組みとして実践する事業。

(1) 地域の定年前後の企業人向けの健康寿命延伸プログラム(食べる力の向上に着目した、4領域「口腔ケア、摂食嚥下リハビリテーション、低栄養予防、地域連携」から成る健康づくりをシニア自身の参画により地域活動として展開)を大学、医療機関等とともに開発・提供し、企業人の社会参加機会の周知活動を行う。

(2) 地域活動の担い手づくり

(3) 本事業を通じて職務・機能分化により、専門職の負担を軽減し、人材不足解消のための人材育成・確保・提供を行う。

3

「企業退職者を活用した健康寿命延伸活動による介護人材確保事業」 事業骨子

<https://taberuchikara.jp/>

I 食べる力に着目した健康寿命延伸周知事業

生涯現役社会実現のために、企業人OB等が事業の担い手として、健康寿命延伸活動に積極的かつ継続的に関わる体制を構築する。周知活動、活動ツールの開発、当法人が開発した健康寿命延伸プログラムの有効性を実証する。また、食べる力の重要性を知ってもらい、効果的な健康寿命延伸プログラムを日々の生活に取り入れる方を増やす。

II 生涯現役社会実現担い手(事業担い手:企業人等)の育成・確保事業

生涯現役社会実現を目指して、高齢者の多様な就労機会の確保をはかる。「企業人から地域人へ」を合言葉に、セカンドライフステージを地域の担い手として活躍する人材の育成・確保を行う。特に地域活動しづらい男性の受け皿モデルとなる事、介護人材不足を補うために介護予防領域での貢献を目的とする。

III 食べる機能に着目した本プログラム(介護予防サービス)導入先開拓事業

食べる機能に着目した本健康寿命延伸プログラムを実施する団体、事業者、自治体を増やし、生涯にわたって口から美味しく食事を味わえ、健康長寿を手に入れる方を増やす。そのために日々の生活に取り入れて頂けるよう、本プログラム導入先を増やし、育成した担い手の活躍の場を作る。

事業別実施結果

1. 周知・啓発イベントの開催

【イベント・講習会の開催】

参加者目標数：300名（5回）

→参加者実績：全19回

イベント約400名（2か所）

講習会延べ444名（6か所）

「とても楽しく役に立つ講演だった」

「食べる力の大切さに気づいた」

「えんげちゃん体操を気に入った」

【相談会】

目標：20回 → 実績：25回

「悩んでいたことが解決した」

「普段聞きにくいことを相談できた」

I 食べる力に着目した健康寿命延伸周知事業

	連携先	開催日	開催場所	参加者 (人数・属性)	実施内容
目標数 5回、300名 ↓ 実績 8か所、 延べ19回 講習会 延べ444名 イベント 約400名	介護予防の会一二三	4/25、5/9、 6/13、7/25、 8/8、9/12、 10/24、11/14、 12/12、1/23、 2/13 計11回	東京都新宿区 集合住宅集会場	各回16～18名 延べ187名 70歳以上 (自立～要介護1) 及びボランティアスタッフ	・講話(知識) ・体操 (指導・実践) ・成果チェック
	NPO法人 山梨県ボランティア協会 甲斐市社会福祉協議会	7月19日	山梨県甲斐市 社会福祉協議会 ホール	41名 山梨県内高齢者、一般、 地域活動団体、歯科衛生 士学校学生等	・講話(知識) ・体操 (指導・実践) ・機能チェック
	法政大OBラテンバンド	8月24日	東京都 オリンピック センター会議室	13名 法政大OBラテンバンドメ ンバー (企業退職者)60歳以上	講話、体操
	ほっとサロンえのき (会食会付き 高齢者サロン)	9月8日	東京都新宿区 榎町地域 センター	30名 75歳以上(自立～要支援) 及びボランティアスタッフ	・講話(知識) ・体操 (指導・実践) ・機能チェック
	いきいき山梨ねんりんピッ ク 山梨県社会福祉協議会	9月28日	山梨県甲府市 小瀬スポーツ 公園	約100名 高齢者、一般、地域活動 団体、医療・介護職能団 体、事業者、企業、自治 体など	・周知活動 ・講話(知識) ・体操 (指導・実践) ・機能チェック
	西早稲田 ふれあいサロン (会食会)	10月5日	東京都新宿区 西早稲田地域 交流館	55名 75歳以上(自立～要支援) 及びボランティアスタッフ	・講話(知識) ・体操 (指導・実践) ・機能チェック
	千葉県福祉機器展 千葉県福祉ふれあいプラ ザ 介護予防トレーニング センター (公)長寿社会文化協会 (WAC)	11/15,16	千葉県我孫子市 けやきプラザ (講習会は会場 内コミュニティカ フェにて実施)	約300名 高齢者、健康経営企業、 健康産業企業、医療・介 護従事者、一般住民、高 齢者支援・介護予防に携 わっている地域活動団 体・事業者等 講習会18名；高齢者、一 般住民等	・周知活動 ・講話(知識) ・体操 (指導・実践) ・機能チェック
	横須賀商工会議所 横須賀ロータリークラブ	1月24日	神奈川県横須賀 商工会議所	100名 横須賀ロータリークラブ 会員、経営者	・講話(知識) ・体操 (指導・実践) ・機能チェック

事業別実施結果

Ⅱ 生涯現役社会実現担い手の育成・確保事業

1. 担い手の育成、確保事業

- ・ 担い手育成者目標15名→実数76名
- ・ 講習会3回→6回、ワークショップ3回→6回

		連携先	開催日	開催場所	参加者；担い手候補 (人数・属性)	実施内容
目標 6回 15名 ↓ 実績 12回 76名	担い手養成講習会 目標 3回 ↓ 実績 6回	NPO法人山梨県ボランティア協会 甲斐市社会福祉協議会	6月29日	山梨県甲斐市 社会福祉協議会 ホール	16名 山梨県内高齢者及び地域活動団体、歯科衛生士学校学生など	* 基礎知識・体操指導・機能チェック法等の習得 * 実践スキームの作り方、活動方法、担い手心得、取り組み事例等
			6月30日		17名 山梨県内高齢者及び地域活動団体、歯科衛生士学校学生など	* 実践演習 * 活動実践
		横須賀商工会議所	8月30日	神奈川県横須賀商工会議所	30名 横須賀商工会議所職員、企業等	* 基礎知識・体操指導・機能チェック法等の習得 * 実践スキームの作り方、活動方法、担い手心得、取り組み事例等
		IT検証産業協会	9月27日	東京都品川区 貸し会議室	7名 40歳～70歳代、企業経営者	
		単独開催	11月9日	東京都江東区 カメラアプラザ	3名 高齢者、地域活動団体、退職者、企業等	
			12月7日	東京都江東区 カメラアプラザ	3名 高齢者、地域活動団体、退職者、企業等	
	ワークショップ 目標 3回 ↓ 実績 6回	NPO法人山梨県ボランティア協会 甲斐市社会福祉協議会	6月29日	山梨県甲斐市 社会福祉協議会 ホール	16名 山梨県内高齢者及び地域活動団体、歯科衛生士学校学生など	・ 提議 ・ グループ別話し合い ・ 発表 ・ 実践演習 ・ 活動実践
			6月30日		17名 山梨県内高齢者及び地域活動団体、歯科衛生士学校学生など	
		横須賀商工会議所	8月30日	神奈川県横須賀商工会議所	30名 横須賀商工会議所職員、企業等	・ 提議 ・ グループ別話し合い ・ 発表 ・ 実践演習
		IT検証産業協会	9月27日	東京都品川区 貸し会議室	7名 40歳～70歳代、企業経営者	
		単独開催	11月9日	東京都江東区 カメラアプラザ	3名 高齢者、地域活動団体、退職者、企業等	
			12月7日	東京都江東区 カメラアプラザ	3名 高齢者、地域活動団体、退職者、企業等	
その他	講習会 +ワークショップ +導入先開拓事業	松本技研(株)	11月1日	山梨県甲州市	10名(30歳代～60歳代) 健康経営企業、社員、家族等	* 基礎知識・体操指導・機能チェック法等の習得 * 実践スキームの作り方、活動方法、担い手心得、取り組み事例等、導入先開拓提案書

事業別実施結果 【総括】

Ⅱ 生涯現役社会実現担い手の育成・確保事業

1. 企業退職者等に対して「生涯現役社会実現担い手（事業担い手：企業人等）の育成・確保のための講習会・ワークショップ」を開催実施したが、参加者は目標数値を大幅に上回り相応の成果を得た。
2. 実施に当たり、多種多様な業界や団体等への声かけを行った。定年延長の導入等によって労働者自身の退職後のライフプランニングが未確立な状況が散見された。企業等側も最近の働き方改革など労働環境変化により、高齢者労働力が見直され、高齢者の雇用確保が重要課題となっていることから、最近の退職者環境は、従前のような社会貢献活動を主体としたスタイルは難しい状況であった。
3. 当該事業の展開においては、当協会の健康寿命延伸活動の重要性や担い手の確保、介護業界への参画などの事業趣旨はおおむね賛同を得た。ただ、いざ実践となると労働者、経営者側もすぐに導入するのは躊躇する結果が多かった。まずは体験会などで導入支援を積極的に行い、活動への理解を深めてもらいながら、取り組みやすい環境を作っていくことが必要と考えられた。
4. 但し企業では高齢者等の健康に向けての施策の実施が急務であり、いわゆる「健康経営」の実践において、当該事業の内容は有効な施策として注目を得た。
5. また実際にボランティア活動を実施している参加者には「活動の幅が広がる」「高齢者特有の健康課題解決に有意義」などの高評価を得たことから、今後の展開として、通いの場等での担い手の確保の視点からの活動や周知活動は展開していきやすいと考えられた。
6. また「食べる機能に着目した本プログラム（介護予防サービス）導入先開拓事業」において実施した、各地のシルバー人材センターとの連携は有効であると考えられた。シルバー人材センターは高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織であることから、本活動に協賛を得た。今後、情報共有が進み、シルバー人材センターの新入会員確保や新職務開発、会員の健康教育などにおいて、当方のプログラムが導入され、各地のシルバー人材センターで担い手育成確保活動へと展開されていくことが期待された。
7. こうしたことから、本年度実施した事業展開は、「地道な周知活動による理解者の拡充」「企業への健康経営での当該事業内容のメニュー化促進」「既存の高齢者対象事業者との連携」の可能性を高める実証結果であった。
この実証結果より、中長期視点から人材確保策として取り組むことが重要である。

事業別実施結果

皿食べる機能に着目した本プログラム(介護予防サービス)導入先開拓事業

【具体的な活動成果例】

* 既存の介護関連事業者の声

山梨県で開催した「地域から食べる力をパワーアップ ～健康づくりフォーラム2019～」には、行政・関係機関、地域サロン経営者、介護事業者・施設、地域活動団体等が参加した。講演会やワークショップなど当該プログラムを実施し、従来活動に加えた導入の可能性を確認した。

その結果、当該プログラムの有用性を認識し、当会のオリジナルツールを使った活動へ発展していく事業者も見られた。

また担い手確保における課題への対応策として、今回のような周知活動や講習会の住民向け開催の必要を認識することができた。

【事業担い手、導入先への活動支援】

食べる機能に着目した本健康寿命延伸プログラムを実施する団体、事業者、自治体を増やし、生涯にわたって口から美味しく食事を味わえ、健康長寿を手に入れる方を増やしたい。

そのために日々の生活に取り入れて頂けるよう、本プログラム導入先を増やす活動や、育成した担い手の活躍の場を作る活動を実施した。

本年度は、訪問先から、講習会開催等自社・団体の会員や顧客向けへの周知内容の要請があり、次年度以降の基礎できた。

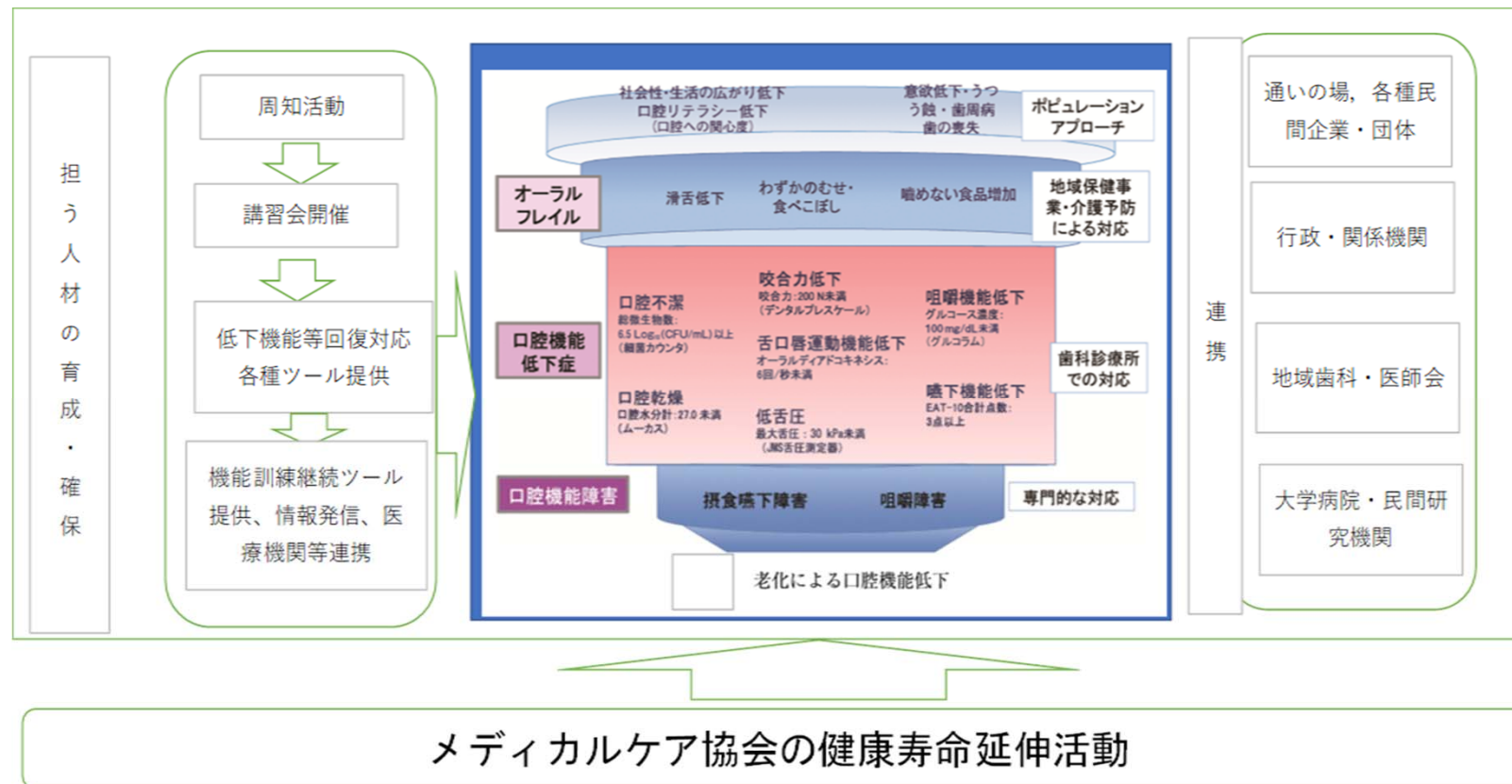
事業別実施結果

【事業担い手、導入先への活動支援内容例】

連携先	開催日	開催場所	参加者 (人数・属性)	支援内容
静岡県焼津市政策企画課 焼津市シルバー人材センター	10月24日	静岡県焼津市 シルバー人材センター	33名(50歳以上) 一般、シルバー人材センター活動者、退職者、地域活動団体など担い手候補	担い手・導入先支援 新元気プロジェクトモデル プログラムにて体験講習
千葉県福祉ふれあいプラザ 介護予防トレーニングセンター (公)長寿社会文化協会(WAC)	11月22日	千葉県我孫子市 千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センター研修室	15名 市町村7市町：柏・野田・松戸・流山・八千代・香取の各市、長柄町 市町村職員5名、地域包括支援センター職員6名 職種別：保健師7名、看護師2名、社会福祉士2名(うち1名は介護支援専門員兼務) ほかに、ふれあいプラザの健康運動指導士2名、看護師1名、社会福祉士1名	担い手・導入先支援 千葉県介護予防担当者研修会にて講習
愛知県シルバー人材センター連合会	11月27日	名古屋キャッスルプラザ	22名(60歳以上) 一般、退職者、地域活動団体など担い手候補	担い手・導入先支援 体験講習
三井住友信託銀行福岡支店	1月22日	三井住友信託銀行福岡支店	51名 高齢者、一般、退職者、企業職員など	導入先支援 体験講習
奈良県シルバー人材センター協議会	2月13日	奈良ロイヤルホテル	33名(60歳以上)	担い手・導入先支援 体験講習
	2月14日	ザ・樫原	一般、退職者、地域活動団体など担い手候補	
沼津市シルバー人材センター	2月20日	千本松プラザ	140名(60歳以上) シルバー人材センター活動者	

事業別実施結果

口腔機能低下の各フェーズにおける当協会の活動との関係性



事業総括と課題

1.これまで社会参加を通じた生きがいづくり、健康づくり、誤嚥ゼロのまちづくり等の活動を実践してきた。今回「食べる力に着目した健康寿命延伸活動」を実施する中で、さらに広く展開するには「地域に密着した連携先の開拓」と「互いの強みを活かしたコラボ」による展開が有効であることが確認できた。

2.住民主体の地域貢献活動は現在担い手不足や高齢化が進み、活動に支障が生じている。特に今後高齢者の地域拠点として期待される「通いの場」の担い手に対して、自立活動を促すツール等が少なく、十分活性化されていない現状がある。→当協会のえんげちゃん体操など活動支援ツールが有効

3.一方で企業退職者等には、生涯現役社会実現や地域貢献活動の担い手としての具体的な職務提供先等が不足しており、生涯現役社会実現における3大欲求「健康でいたい」「社会参加したい」「一定の収入が欲しい」に応えられる機会が不十分であることも見えてきた。→当協会の人材育成教材、プログラムが有効

4.そこで「食べる力に着目した健康寿命延伸活動」を通じて、多様な就労機会や雇用機会の開拓・確保につなげていくことが2、3を解決する効果的な打開策と考えられた。

5.また今後の課題として以下が考えられ、解決に向けた取り組みが必要である。

- ①住民主体地域貢献活動の担い手確保を地元既存活動団体等と連携した効果的な実施
- ②生涯現役社会を実現する担い手向けの多様な職務と提供先開拓
- ③地域貢献活動活性化の為に自立用教材等開発
- ④事業広報の拡充、連携機関等との情報共有

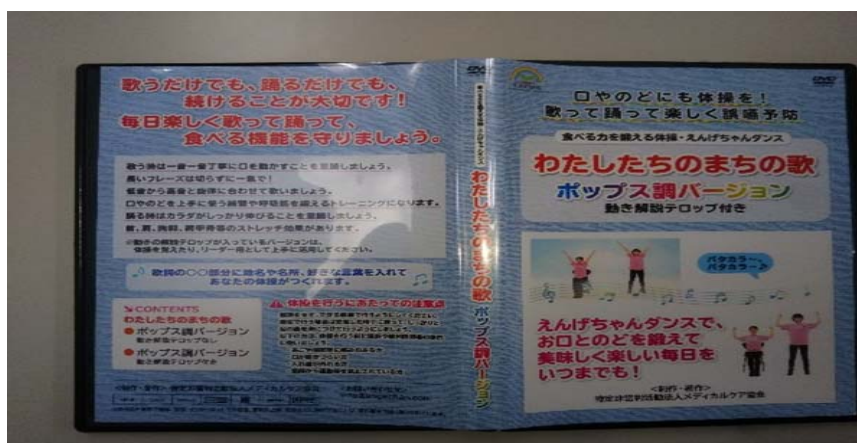
事業実施評価

評価	項目	評価内容	評価結果
ストラクチャー評価	参加者・連携先、住民・地域・社会効果	本事業の実施により、事業参加者、地域住民、地域・社会での効果予測を定性的に把握する。	参加者ははじめ、関係企業等の本事業への意識は醸成されて多様な就業機会の発掘が期待される。
	連携状況	医療系専門学校〈生〉との連携	山梨県歯科衛生士学校のセミナー等参加もあり今後期待できる。
		ボランティア団体との連携	山梨ボランティア協会との連携はお互いの強みを生かした活動であった。
		シルバー人材センターとの連携	講習会開催をはじめ多様な取り組みが初年度から始まり今後の事業展開での連携方法の具体的な指針が見えてきたように感じられる。
		住民主体の通いの場との連携	周知活動での担い手不足への対応を期待する。
	委員会活動	委員（会）のネットワーク利活用	各委員の協力が本年度の事業目標達成に大きく貢献した。
プロセス評価	満足度調査	事業報告書	予定事業に関する実施状況や各種意見等の内容整理、及び次年度以降の方向性や課題の抽出と次年度対応内容
		周知活動における内容の評価	「食べる力チェックリスト」等による講義内容、体操内容、カレンダー内容についての関心度・理解度・継続性・伝播性の確認したが、期待以上の満足度を得ている。

アウトプット評価	健康寿命延伸状況評価	食べる力の行動変容評価	「食べる力チェックリスト」による現状確認と傾向値比較、次年度は個人行動変容結果の確認は次年度実績調査が重要である。
	教材に関する評価	テキスト、体操についてのモニタリング評価	教材については、担い手育成受講者にとって、パイプであり、非常に役立つとの評価であった。 動画体操・ダンスについて4つの取組に利用者は驚嘆、大人気
アウトカム評価	事業の目標達成評価	(1)健康寿命延伸活動の周知活動と専門家による相談会開催	開催回数、参加者延数相談会とも目標以上の達成率である。
		(2)生涯現役社会実現担い手（事業い手：企業人等）の育成・確保	開催回数12回、育成人材数76名と大きく目標達成。
		(3)食べる機能に着目した本プログラム（介護予防サービス）導入先開拓	目標10社を完全クリア。開拓を通じた講習会等開催し、次年度活動の礎が築かれた。
		(4)情報発信	モデルの開示や活動の動きを適宜実施していた。HPや業界団体等関係機関との協議を実施して広くPRしている
		(5)教材開発	健康寿命延伸に関する「知識習得」「実践」教材の作成済み。体操完成。
		(6)委員会	事業マネジメントに関する対応実施。最終課題等とりまとめた。

事業成果物

○食べる力に着目した健康寿命延伸に有効なオリジナル体操（歌とダンス）の開発



○成果報告書

○オリジナル体操解説書



○健康寿命延伸に関する「知識習得」「実践」テキスト

○住民啓発・周知活動実施調査：

「周知、啓発活動参加者の定量・定性情報の集計、分析による効果検証と解決モデルの構築」